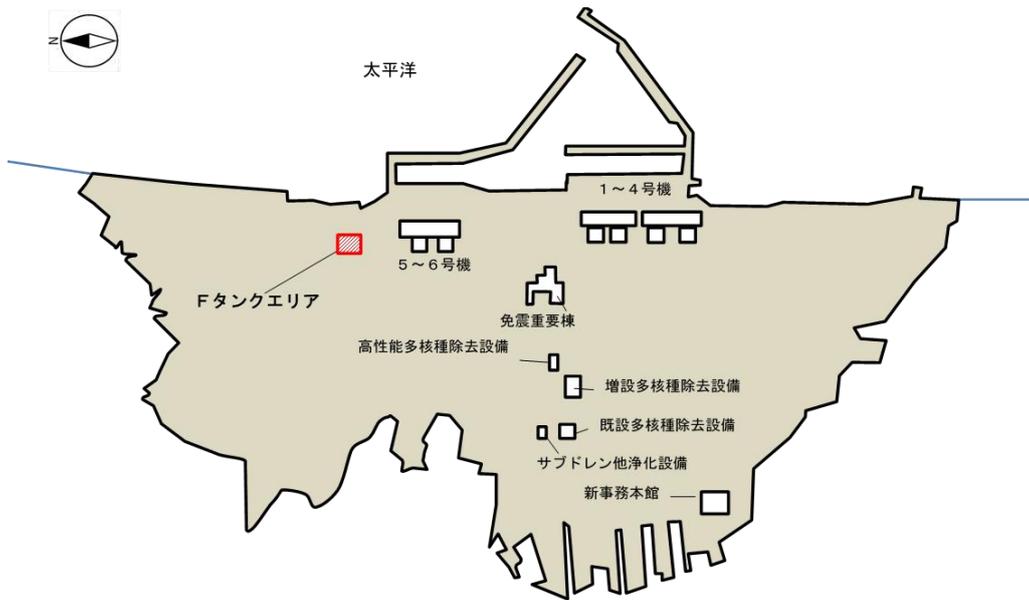


福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年9月4日（金）
- 2 確認箇所
Fタンクエリア（5／6号機浄化ユニット）
- 3 確認項目
5／6号機滞留水貯留設備浄化ユニットC配管フランジ部からの水の漏えいに関する対応状況
- 4 確認結果の概要
5／6号機の滞留水については、Fタンクエリア内に設置されている4基の浄化ユニット（A～D）などにより処理された後、構内に散水されている。（図1、写真1）
今年8月に浄化ユニットCの吸着塔配管フランジ部から水の漏えい^{*}が発生したことから、対応状況を確認した。
 - ・漏えいが発生した浄化ユニットCを含めた全ての浄化ユニットは稼働を停止していた。
 - ・漏えい箇所はビニールテープにより養生されていた。（写真2）
 - ・東京電力によれば漏えい発生以降、浄化ユニットは全て稼働停止しており、近日漏えい箇所を解体して点検の上、原因究明予定とのこと。また、滞留水については、健全性の確認されている浄化ユニットで処理を再開予定とのこと。

※ 令和2年8月14日に東京電力社員が浄化ユニットCから水の漏えいを確認し、漏えいパン内の水を同日回収した。（漏えい量：約23m³、水質：Cs137 2.6Bq/L・全β放射能 11Bq/L、漏えい範囲：Fタンクエリア内堰内）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)

Fタンクエリア内の浄化ユニットの設置状況

(浄化ユニットC、D。それぞれの裏側に浄化ユニットA、Bが設置されている。)



(写真2-1)

浄化ユニットC内部の状況



(写真 2 - 2)
漏えいの発生した吸着塔



(写真 2 - 3)
漏えい箇所はビニールテープにより養生

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。